

6月度「共通講座・施設見学」活動記録

記録者：1班 林

実施日：令和5年6月7日（水） 天候：晴れ

場所：福島区民センター

参加者：23人（1班8人 2班9人 3班6人）

共通講座 10:00～12:00

テーマ：「野外活動で出会う害虫（マダニ・ハチなど）の生態とその対策」

講 師：夏秋 優先生 兵庫医科大学医学部皮膚科学 教授

内 容：

皮膚炎の原因となる主な虫（ハチ、ムカデ、セアカゴケグモ、カ、ブユ（ブヨ、ブト）、アブ、ネコノミ、マダニ、毛虫）について、どのようにして皮膚炎を起こすのか（刺す、咬む、血を吸う、皮膚に触れる）、局所症状の処置の仕方、全身症状（即時型、遅延型アレルギー反応）の救急処置について講演された。皮膚科医・毒虫の研究と実体験してきた立場から話されたので、具体的で興味深く聴講できた。

*野外活動で使う虫除け薬は・ディート（サラテクト：アース製薬）と・イカリジン（スキンベースD1（フマキラー）、虫よけキンチョールB）の二つが多くの害虫に効果的とのこと。

施設見学 12:40～14:30

昼食後、福島区民センターから梅田に出て、新梅田シティの里山（花野）を散策した（18名参加）。梅田スカイビルの北側にあり、500本を超える日本の在来樹種と200種類以上の低灌木・草花を植栽し、「里山」を再現している。その後、大阪駅「うめきた新駅」の地下ホームを見学し、現地解散した。観察会が雨で流れてばかりで歩く機会がなかったので久しぶりの観察会になりました。

		
講師：夏秋教授	スライド	里山入り口で集合写真
		
ヒメシャラ	観察風景	うめきた新駅にて